

私が見た 図書館

大学院英米語学専攻2回生 三谷尚代

私と本学図書館の出会いは、京都外大に編入学してきた3年前に始まります。最初、シーンと静まり返った閲覧室に驚きました。何だかすごいところに来てしまったなぁと思いましたが、授業の調べものために図書館へ通ううち、すっかり図書館が気に入ってしまいました。



その理由として、本学図書館には、閲覧室だけでなく書庫にも膨大な数の本や雑誌があり、読みたい本をすぐに手に入れることができるためです。また図書館内だけでなく、ホームページからも本の検索ができるので、家でもどこでもすぐに本を探し出せることも大きな魅力の一つです。

今は主に文学に関する本を探すのに図書館を利用していますが、語学、文化、教育、更には専門書以外のファッション、スポーツ等の雑誌、ガイドブック、資格、就職に関するものなど、日本語、原書に関係なくあらゆる本を見つけることができるので、今まで本当に多くの本と出会うことができました。

図書館は、今までなかった関心や興味を引き出してくれるいい場所だと思います。時間がある時にも、ふらっと立ち寄ってみてはどうでしょうか。きっと新しい自分に出会えることでしょう。

海外の図書館レポート⑥

ブラジリア大学中央図書館について

交換留学生 クラウジオ ヴァスコンセロス

ブラジリア大学はブラジルで一番高く評価されている連邦大学です。国のほぼ真中に位置し、60年代にできた新首都ブラジリアに置かれています。キャンパスは建物の構造だけでなく全ての面において、現代の高等教育と科学研究の模範として設計されました。そのキャンパスの東側にある「中央図書館」はアカデミックな生活において欠くことのできない施設の一つです。美しい自然に囲まれている3階建ての広々とした現代的な建物で、大学自体のアカデミックな生活に限らず、ブラジリア市の福利、そして市民の知識や文化生活のために、だれでも24時間図書館を利用できるようになっています。



他の近代図書館と同様に、設置してあるコンピュータシステムからAVルームや自習室、そしてグループワーク用の部屋などがあり、大勢の親切な係員から様々なサービスが受けられます。つまり広範囲にわたる最新テクノロジーをいかした設備と勉強のための環境が整っているのです。それだけでなく、個人的に暇な時には返却された本のセクションで面白い本を手当たり次第に選んでみて、時々いい意味でびっくりします。

最後になりましたが決して軽んじられないのがやっぱりブラジルらしい雰囲気図書館のような堅い場所の中でも現れるので、館内がナンパのいい舞台です。ブラジリア大学中央図書館を訪れる機会があったら、どうぞ遠慮なくどんどん勉強も、遊びもお試してください。